

2003年度 京都大学 生涯教育学講座 彙報

1. 2003年度 授業

《大学院》

教 授	前平 泰志	比較社会教育論	前期
		生涯教育学研究Ⅰ・Ⅱ	前期・後期
		生涯教育学演習Ⅰ・Ⅱ	前期・後期
教 授	川崎 良孝	図書館情報学特論Ⅱ	前期
		図書館情報学演習Ⅰ・Ⅱ	前期・後期
助教授	渡邊 洋子	生涯教育学講読演習Ⅰ	前期
		生涯教育学研究Ⅰ・Ⅱ	前期・後期
		生涯教育学演習Ⅰ・Ⅱ	前期・後期
講 師	佐久間孝正	生涯教育学特論Ⅰ	後期集中
講 師	山口源治郎	図書館情報学特論Ⅱ	前期集中

《学 部》

教 授	前平 泰志	相関教育システム論基礎演習ⅡA	前期
		同和・人権教育論	後期
		生涯学習概論Ⅱ	後期
		生涯教育・図書館情報学専門ゼミナールⅠ・Ⅱ	前期・後期
教 授	川崎 良孝	図書館資料論	前期
		相関教育システム論基礎演習ⅡB	後期
		生涯教育・図書館情報学専門ゼミナールⅠ・Ⅱ	前期・後期
助教授	渡邊 洋子	生涯学習概論Ⅰ	前期
		生涯教育・図書館情報学専門ゼミナールⅠ・Ⅱ	前期・後期
		教育研究入門Ⅱ（リレー方式）	後期
		偏見・差別・人権B（全学共通科目、リレー方式）	後期
講 師	国生 寿	社会教育計画論Ⅰ・Ⅱ	前期・後期
講 師	山田 礼子	生涯教育学・図書館情報学講読演習Ⅰ・Ⅱ	前期・後期
講 師	志保田 務	資料組織論	前期
		資料組織論演習Ⅰ・Ⅱ	前期・後期
講 師	塩見 昇	図書館経営論	前期
講 師	山本 昭和	図書館サービス論	前期
講 師	川崎佳代子	読書と豊かな人間性	前期集中
講 師	柴田 正美	情報メディアの活用	前期集中

2. 研究活動

《生涯教育学研究室》

- ・合宿：2003年7月25日～27日（関西セミナーハウス）京都大学大学院生涯教育学講座主催
- ・講演会：2003年6月3日（京大会館211号室）京都大学大学院生涯教育学講座主催
 - フリダヤ・バジュラチャルヤ
 - （ネパール・トリブワン大学 教育革新と発展研究センター（CERID）所長）
 - 「学校からコミュニティへ——環境保全と文化保護を推進する教育の可能性」
- ・講演会：2003年9月16日（京大会館211号室）京都大学大学院生涯教育学講座主催
 - 金 信一（ソウル大学）「学習社会における資格制度の拡張：韓国の場合」
- ・講演会：2004年2月18日（京都大学教育学部第二講義室）教育社会学講座と共催
 - ロナン・ル・コアディック（ブルターニュ師範大学院（IUFM）助教授）
 - 「自ら助くるために学ぶ：ブルターニュ地方の生徒たちは
なぜ学校で好成績を収めるのか」
- ・セミナー：2003年11月19日（京都大学教育学部第2演習室）京都大学大学院生涯教育学講座主催
 - 宮坂広作（東京大学名誉教授）「生涯学習研究と生涯発達史研究」
- ・セミナー：2003年11月27日（同志社大学 徳照館1階会議室）京都大学大学院生涯教育学講座・京都生涯学習研究会の共催
 - ヘリベルト・ヒンツェン
 - （ドイツ成人教育センター連合（DVV）国際協力研究所所長）
 - 「Information, Exchange and Cooperation in Adult Education
— Asian, European and International Perspectives」

《図書館情報学研究室》

- ・講演会：2003年3月28日（京都大学附属図書館3階AVホール）京都大学大学院教育学研究科生涯教育学講座・日本図書館研究会・京都大学附属図書館・近畿地区国公立大学図書館協議会の共催
 - ルイズ・ロビンズ（ウィスコンシン大学図書館情報学大学院研究科長・教授）
 - 「アメリカの図書館と知的自由：過去と現在」
 - 川崎良孝「大学図書館員の専門性について」
- ・講演会：2003年6月19日（京都大学附属図書館3階AVホール）京都大学大学院教育学研究科生涯教育学講座・日本図書館研究会・関西ドイツ文化センター・京都大学附属図書館・近畿地区国公立大学図書館協議会の共催
 - ウーヴェ・ローゼマン（ハノーファー大学図書館および技術情報図書館館長）
 - 「VASCODA と subito について」
 - イエンス・ボイエ（東京ドイツ文化センター図書館館長）
 - 「ドイツ文化センターとその図書館活動」

- ・大学図書館研究会京都ワンディセミナー：2003年6月28日（京都アスニー第4研修室）
京都大学大学院教育学研究科生涯教育学講座、大学図書館問題研究会京都支部の共催
 - 事例報告：藤原由華（京都大学附属図書館）
「京都大学附属図書館における情報リテラシー」
 - 事例報告：大橋亜紀子（京都大学工学研究科・工学部物理工学系図書室）
「京都大学工学系図書室における情報リテラシー」
 - パネルディスカッション：生津知子（京都大学教育学研究科博士課程）、金智鉉（京都大学教育学研究科博士課程）、薄良彦（京都大学工学研究科博士課程）、呑海沙織（京都大学人間・環境学研究科総合人間学部図書室）、赤澤久弥（京都大学工学研究科・工学部電気系図書室）「利用者の立場から見た大学図書館」

3. 院生研究業績

【博士後期課程】

- ・金 智鉉（図書館情報学）口頭発表：「視覚障害者にとっての点字図書館——変化しつつある環境の中で点字図書館の意味と位置付け——：韓国の点字図書館のインターネットサービスについて」（日本図書館研究会、2003年3月）
- ・吉田 正純（生涯教育学）論文：「《精神の明晰》～『世界文化』集団の抵抗と学習：中井正一たちと〈抵抗の学習〉をめぐる諸問題(2)」(『京都大学 生涯教育学・図書館情報学研究』第2号、2003年3月)
口頭発表「中井正一の戦後活動における「文化」の転形をめぐる——広島における文化運動の思想を中心に——」（日本社会教育学会、2003年9月）
- ・生津 知子（生涯教育学）口頭発表：「イギリスU3A（The University of the Third Age）の発展経緯と現状」（日本社会教育学会、2003年9月）
口頭発表：「高齢者の学習活動の社会福祉的意義——イギリスU3A（The University of the Third Age）の『サードエイジ』概念を手がかりに——」（日本社会福祉学会、2003年10月）
- ・倉知 典弘（生涯教育学）論文：手島精一の「社会教育」論の検討——実業教育と社会教育の関連に関して（『京都大学 生涯教育学・図書館情報学研究』第2号、2003年3月）

【修士課程】

- 坂上 未希（専修コース）翻訳書：トニ・セイメック著、川崎良孝・坂上未希訳『図書館の目的をめぐる路線論争——アメリカ図書館界における知的自由と社会的責任 1967-1974年』京都大学図書館情報学研究会、2003年10月

4. 共同研究「高齢期の社会・文化活動に関する研究」

2004年2月5日、京都大学大学院教育学研究科・生涯教育学講座では、(株)JTBの受託研究を受け、同年3月より「高齢期の社会・文化活動に関する研究」を開始すると発表した。この研究では高齢者を中心に知を愛する人びとが、大学での最前線の研究を行っている教官が、ともに緩急の面白さを語り合いながら、学びの喜びを共有する途を探ることとされている。具体的には、①シニア世代の参加者が講義などキャンパスライフを体験する「京都大学シニアキャンパス」、②民間施設を利用して実施する特別講義「京都大学 in JTB カルチャーサロン」(仮称)、③シニア世代の「学び」に関するアンケート調査・分析、などが計画されている。

5. ASPBAE ワークショップへの参加

2003年1月26-31日、ASPBAE(アジア南太平洋成人教育協議会)主催の「地域基礎リーダーシップ開発ワークショップ」がダッカ(バングラデッシュ)で開催され、本学生涯教育講座より院生の吉田正純・安川由貴子の両名が参加した。このワークショップでは南アジア・東南アジア・南太平洋・中央アジア・東アジア各地から約30名の成人コミュニティ教育実践家が参加した。そこではジェンダー・平和教育・アドヴォカシー・IT技術といったテーマで活発な討議が重ねられたほか、各地での実践の経験共有やワークショップの方法の検討など、今後のコミュニティやNGOの現場での成人教育の実践と原理に結びついた議論がなされた。

6. 研究会など

- ・「地域通貨」研究会
- ・「学びの文化」研究会
- ・SDL研究会